

10 月の植物

キッコウハグマ (キク科)

Ainsliaea apiculata Sch.Bip.

キッコウハグマは高さ 10～20cm ほどの小型のキク科植物。佐賀県内の山間部の林内で普通に広く見られる。茎の下部につく葉の形は五角形，亀甲に似ている。

花はというと，これからの時期，薄暗い林内の木陰で咲き始める。花は白色 1cm ほどの大きさで，一見一輪の花（頭花）のように見える。花に近づきよく見てみると，3 個の筒状花からなる。花弁の先はくるりと巻いており，風車のように非常に可愛い。秋を感じさせてくれる花のひとつである。

一方で，キッコウハグマは花を開かないまま結実する「咲かない花」，閉鎖花をつける。写真の茎上部につく細長い蕾のようなものが閉鎖花である。光条件が悪いと閉鎖花をつけると言われている。虫に頼らなくても，確実に種を作るキッコウハグマの賢さ，植物の巧みな生存戦略にはいつも驚かされる。

（文責：伊藤 幸子）



2019.10.15 檜原湿原（写真提供：井手 義信）